

仕切り網で藻場回復Ⅱ-奄美編

令和2年4月23日 水産技術開発センター

本年2月、奄美大島の瀬戸内町で行っている食害防除試験が、藻場回復に向け順調に進んでいることを報告しましたが、その後も大きな食害はなく、無事藻場が形成されました。

網の外側にもマジリモクの伸長が見られますが、魚が網に警戒したことや若干深めであったので行動範囲外であったことなどが考えられます。浅場の転石域では、網外では食害が確認され、仕切り網が食害防除効果を発揮したと考えています。

インターバルカメラが1~2分間隔で撮影した網内の画像約2万枚の中には、アイゴが2枚、ブダイ類が15枚確認されましたが、藻体に大きな食害は見られませんでした。

今年度再現性を確認予定です。



仕切り網と藻場の全体像



左写真白矢印からの藻場内部



転石域(網の外側)の食害に遭った藻体



カメラに写ったアイゴ